



いわき市長
内田 広之

共に、乗り越えましょう

台風第13号では1名の尊い命が失われ、また、約1700世帯の床上床下浸水がありました。心よりご冥福と、お見舞いを申し上げます。
災害ボランティアの皆様のお力添えはありがたく、高齢者の被災も多いため、生活再建への大きな助けになっています。感謝で一杯です。
市は、かつてないスピードで復旧を進めています。至らぬ点は、何でもご指摘ください。更なる加速化を目指し、尽力します。



「共助」の連鎖を



被災地のために、わたしたちができること。

2011年の東日本大震災、2019年の東日本台風、そして本年9月に本市を襲った台風第13号。

こうした自然災害のたびに、被災した地域では、多くの大切なものを失い、張り裂けそうな思いを抱えながらも懸命に前に進んでいます。

復旧への歩みは、一人の大きな一歩よりも、たくさんの小さな一歩が必要です。

「ヒトゴト」ではなく「ジブゴト」として、多くの「災害ボランティア」の方々が、皆さんの一歩を踏み出し、被災した地域と住民の方々の一日も早い復旧のために今日も活躍しています。



災害ボランティアは決して、力仕事ばかりではなく、未経験でも体力に自信がない方でも支援できる活動があります。

また、災害ボランティアに参加することは「共助」の連鎖を生み出す最初の一步であるとともに、自身の防災意識の向上にもつながります。

共助の連鎖で迅速な復旧・復興を実現し、防災意識の醸成により、激甚化・頻繁化する自然災害に備えることで、地域全体の防災力を高めます。
困っている人を助けるため、大切な人や財産を守るため、わたしたちができること。その一つが災害ボランティアです。

特集2 災害ボランティアを知る

台風第13号におけるボランティアについて



東京都から参加した災害ボランティア
茂呂 功さん

東日本大震災をきっかけに全国各地の災害ボランティアに参加しています。最初は、自分一人の力で何ができるかと思っていました。が、被災地には困っている人が必ずいるはず。そうした方々の力に少しでもなれればと思っています。いわきでの活動は3日目。一旦、東京へ戻り、また来る予定です。被災地への一日も早い復旧を願っています。



市社会福祉協議会ボランティア活動センター長
重村 友紀さん

ボランティアセンターを立ち上げて以降、全国から約4300人（10月15日現在）が内郷地区を中心に支援活動を行って来ています。

ボランティアに協力くださった一人一人の思い、そしてその行動に心から感謝申し上げます。社会福祉協議会としても、ボランティアに参加いただく方たちと連携しながら、一日も早い復旧に全力で取り組んでまいります。

被災された方の生活再建のための義援金のご協力をお願いします

●生活支援のための義援金受入口座

銀行	支店名	口座番号	口座名
東邦銀行	いわき営業部	(普)2675400	いわき市災害対策本部

●災害復旧および復興のための義援金受入口座

銀行	支店名	口座番号	口座名
東邦銀行	いわき営業部	(普)2675418	いわき市災害対策本部